

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和3年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- ▶ また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- ▶ さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

国産木材を活用したさわやか広場広報スペース等整備事業

- 多数の来庁者が利用する本区役所庁舎2階「さわやか広場」に、国産木材から作製されたカタログスタンドやツールを配置することで、休憩等多目的に利用いただけるよう、利用者が木のぬくもりや優しさを感じられる空間を創出した。

【事業費】 2,816千円（うち譲与税2,816千円）

【実績】 カタログスタンド 9台
ツール 40脚



□ 事業スキーム

制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- 「さわやか広場」利用者が木のぬくもりを感じ、木そのものの良さをあらためて認識してもらえるよう無垢材を使用した。
- ツールについては、様々な機会に利用いただけるよう屋外でも使用できる仕様とした。



□ 基礎データ

①令和3年度譲与額	236,228千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,752,412人
⑤林業就業者数（※4）	62人

※1、2：「2020年農林業センサス」より、※3：「R2年国勢調査」より、
※4：「H27年国勢調査」より